

いせ



第61号

令和2年12月1日号

発行／伊勢市議会
編集／議会のあり方調査特別委員会
広報検討分科会

市議会だより

題字 大湊小学校5年 中岡 穂香 さん



主な記事

- 9月定例会の概要 2～3ページ
- 決算特別委員会の概要 4～5ページ
- 審議した主な議案の内容 6～7ページ
- 市政を問う（議案質疑・一般質問）... 8～11ページ
- 議員定数検討会 12～13ページ
- 新型コロナに関するアンケート結果 14～15ページ

「にぎわいが戻ってきたおはらい町」

市内在住の方にご投稿いただきました。

撮影日 2020年10月6日

「緊急事態宣言が出されて以降、市内の観光地も人出がまばらでしたが、修学旅行や観光客が増えてきて、少しずつにぎわいが戻ってきました。」

9月定例会

令和元年度 決算審査

・ 一般会計、特別会計および企業会計を全会一致で認定
・ 財政調整基金13・6億円を取り崩し、財源に活用

9月定例会の概要

令和2年9月定例会を9月14日から10月13日までの30日間の会期で開催しました。

今定例会では、市長から「令和元年度決算認定について」をはじめとする38議案が提出され、本会議、決算特別委員会、各常任委員会において慎重に審議した結果、各決算議案を可決・認定、他の議案もいずれも原案どおり可決し、人事案件については同意しました。そのほか、報告3件を承認、請願1件を採択、発議6件を可決しました。

令和元年度においても大型公共工事が集中したことにより、平成30年度に引き続き財政調整基金13・6億円を取り崩し、財源として活用しました。



藤井会計管理者から決算の概要説明



畑代表監査委員から決算の監査結果報告

令和元年度各会計決算の概要は3ページから5ページ、主な議案の内容および議決結果は6ページから7ページをご覧ください。

9月定例会日程

9月14日。本会議

(議案の提案説明等)

・ 産業建設委員会

・ 全員協議会

23日。議会運営委員会

・ 同協議会

・ 本会議(議案質疑・委員会審査付託・一般質問)

・ 決算特別委員会

(全体会)

24日。本会議(一般質問)

28日。決算特別委員会

(分科会審査)

(9月28日～10月2日)

10月1日。教育民生分科会

2日。総務政策分科会

6日。産業建設委員会

7日。教育民生委員会

8日。総務政策委員会

9日。決算特別委員会

(全体会)

13日。議会運営委員会

・ 同協議会

・ 本会議(議案採決等)

・ 産業建設委員会

・ 教育民生委員会

・ 総務政策委員会

・ 全員協議会

財政調整基金

財政調整基金は年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てられている市の貯金です。

昨年度決算では学校や病院の建設等、大型公共工事が集中したことにより、財政調整基金を市町村合併後初めて取り崩しました。

令和元年度においても引き続き取り崩すこととなり、財政調整基金残高は令和元年度末で118億円となりました。

8月臨時会を開会

令和2年8月臨時会を8月11日に開会しました。

「令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第6号)」が提出され、本会議、各常任委員会において、慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。

審議した主な議案の内容

令和2年度補正予算

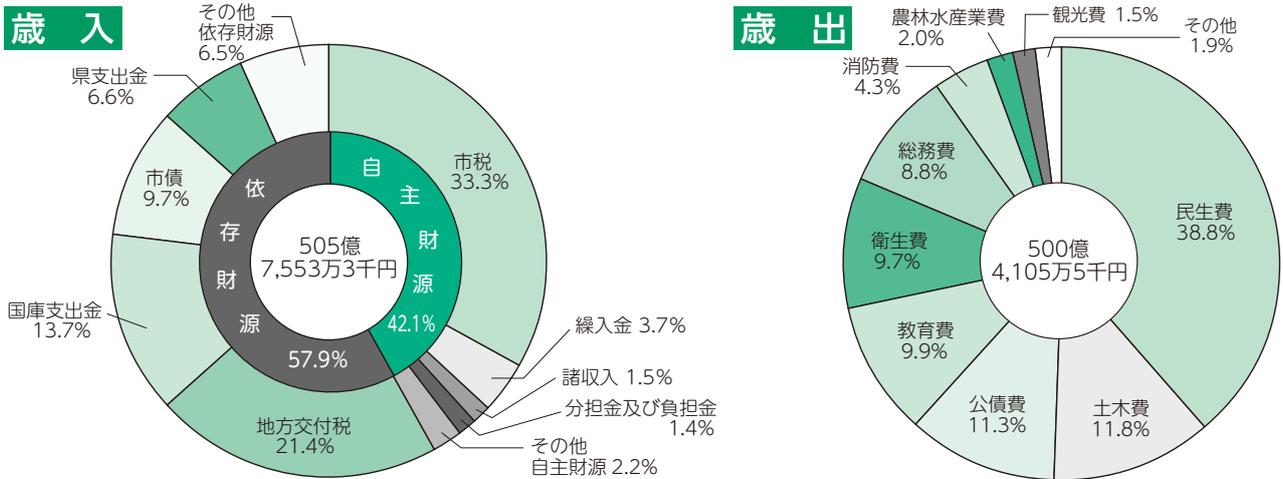
▽令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第6号)
9億468万2千円

新型コロナウイルス感染症に関連した感染防止対策、生活支援対策、経済対策に要する経費を増額補正しました。

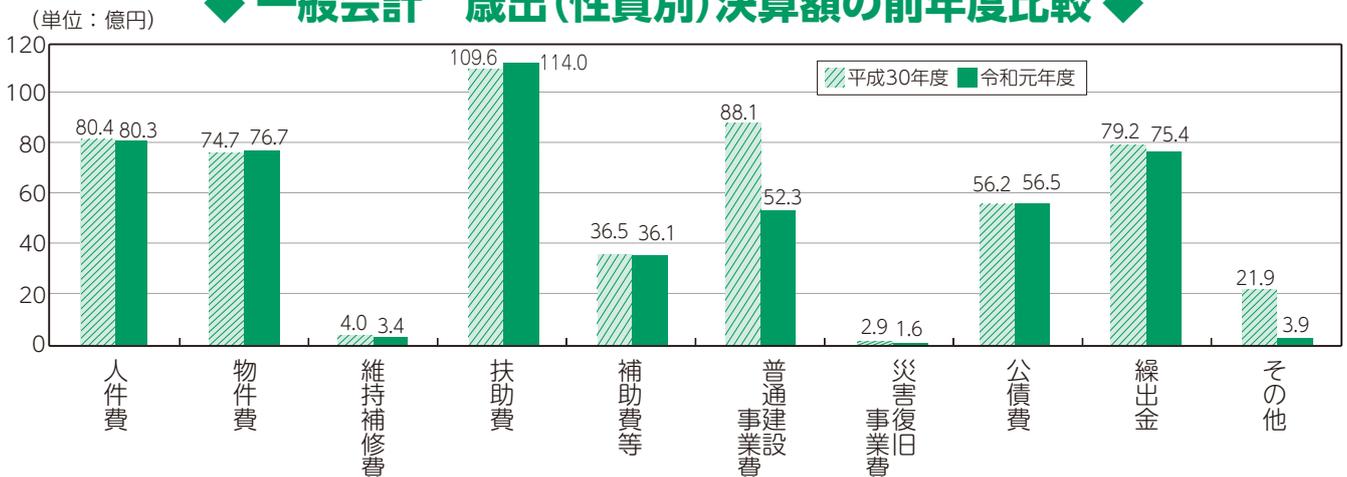
◆令和元年度一般会計・特別会計・企業会計決算（概要）◆

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計		505億7553万3千円	500億4105万5千円	5億3447万8千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)
特別会計	国民健康保険	129億7472万9千円	127億4412万9千円	2億3060万円 (基金積立額を含む)
	後期高齢者医療	31億4981万6千円	30億8918万2千円	6063万4千円
	介護保険	142億8991万円	137億6535万2千円	5億2455万8千円
	住宅新築資金等貸付事業	631万9千円	514万円	117万9千円
	観光交通対策	6億6385万3千円	6億156万1千円	6229万2千円 (翌年度へ繰越すべき財源を含む)
	土地取得	1億9892万6千円	1億9849万6千円	43万円
会計名		収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
企業会計	病院事業	76億7959万9千円	80億5546万6千円	▲3億7586万7千円
	水道事業	26億1923万4千円	22億3244万1千円	3億8679万3千円
	下水道事業	34億7408万7千円	33億3886万2千円	1億3522万5千円

◆令和元年度一般会計決算の内訳（目的別）◆



◆一般会計 歳出(性質別)決算額の前年度比較◆



決算特別委員会の概要

決算特別委員会は、9月28日から10月2日までの5日間で、一般会計、各特別会計および各企業会計の令和元年度決算について分科会方式で審査しました。

- 9月
 - 28日・産業建設分科会
 - 29日・産業建設分科会
 - 30日・教育民生分科会
- 10月
 - 1日・教育民生分科会
 - 2日・総務政策分科会

審査の結果は、「令和元年度決算」を全会一致で認定、「令和元年度伊勢市病院事業会計決算」、「令和元年度伊勢市水道事業会計決算」および「令和元年度伊勢市下水道事業会計決算」を全会一致で可決・認定すべしと決定しました。

各分科会では主に次の項目について、審査を行いました。

産業建設分科会

○歳入
森林環境譲与税、道路占用料および住宅使用料

○歳出
労働費 若年者および女性の就労支援、障がい者雇用など

農林水産業費 農産物のブランド化、地産地消推進、排水機場の維持管理、獣害対策、干潟保全など

商工費 商店街の振興対策

観光費 マイクロツーリズムのための情報発信、観光情報のSNS発信など

土木費 地籍調査、道路整備工事の早期完成、宇治山田駅周辺道路の混雑対策、治水対策の充実、宇治山田港湾を活かしたまちづくり、空家対策など

特別会計

- 住宅新築資金等貸付事業特別会計
- 観光交通対策特別会計
- 土地取得特別会計

企業会計

- 水道事業会計 経費削減および効率化への取組、有収率向上など
- 下水道事業会計 下水道接続率向上、雨水処理対策など



産業建設分科会 (9月29日)



産業建設分科会 (9月28日)



産業建設分科会での審査

教育民生分科会

○歳入
保育料収入、じん芥収集車両の広告収入

○歳出
民生費 健幸ポイント、保育のICT導入、伊勢市駅前の保健福祉拠点施設の整備、障がい者体育祭、障がい者地域相談支援センターなど

衛生費 エコドライブの普及促進、地球温暖化、市営墓地の管理、ごみの削減、ごみ分別のPRなど

消防費 災害時要援護者の支援体制

教育費 外国語教育、通学路の安全対策、部活動の外部指導者、学校教育へのICT機器導入、コロナ禍における学校手洗い場の自動水栓化など

特別会計

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計 高齢者の集いの場への移動支援

企業会計

- 病院事業会計 ホスピス病棟の周知、医師確保



教育民生分科会 (10月1日)



教育民生分科会 (9月30日)



教育民生分科会での審査

総務政策分科会

○歳入

市税の収納率、スマートフォンアプリによる納税環境推進、吹上駐車場の利用促進、合併特例債の活用状況、今後の財源確保など

○歳出

総務費 自衛官募集事業での個人情報扱い、職員のメンタルヘルス対策、バランスの取れた定員管理、出会い・結婚支援での婚姻率等の向上、公共施設マネジメントのあり方、まちづくり協議会の運営と認知度向上、まちづくり協議会と自治会の役割の明確化、防犯灯のLED化推進、窓口業務委託業者変更によるサービス低下への懸念など

民生費 非核平和・人権教育の推進

消防費 救急隊員のスキルアップ、備蓄倉庫等の確保、停電時の対応、災害用

トイレの整備など



総務政策分科会 (10月2日)



総務政策分科会での審査

決算特別委員会全体会

10月9日の決算特別委員会全体会で、各分科会の会長から分科会ごとの審査の結果報告と採決がありました。

また、10月13日の本会議で、藤原清史決算特別委員会委員長から決算全体の審査の結果報告がありました。会議の動画は、伊勢市議会のホームページからご覧いただくか、下のQRコードを読み取って視聴してください。

ださい。



決算特別委員会 (10月9日)



本会議 (10月13日)



藤原清史委員長審査結果報告

議会日誌

7月

- 6月定例会 (6月15日～7月1日)
- 2日。新型コロナウイルス対策会議
- 6日。条例等検討分科会
- 8日。産業建設委員会・教育民生委員会連合審査会
- 16日。産業建設委員会・教育民生委員会連合審査会

8月

- 4日。議会運営委員会
- 11日。8月臨時会
- 4日。広報検討分科会
- 31日。新型コロナウイルス対策会議

9月

- 1日。教育民生委員会
- 2日。同協議会
- 2日。総務政策委員協議会

10月

- 1日。新型コロナウイルス対策会議
- 2日。新型コロナウイルス対策会議
- 5日。全員協議会
- 6日。議会のあり方調査特別委員会
- 7日。広報検討分科会
- 13日。産業建設委員会・教育民生委員会連合審査会
- 21日。条例等検討分科会
- 29日。新型コロナウイルス対策会議

QRコードについて

いせ市議会だよりでは、YouTube を利用した録画放送へリンクするQRコードを掲載しています。スマートフォンやタブレットで読み取ると、会議の動画が視聴できます。 ※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。

審議した主な議案の内容

令和2年度補正予算

▽令和2年度伊勢市一般
会計補正予算(第7号)
1億8286万6千円

▽令和2年度伊勢市一般
会計補正予算(第8号)
4億7227万1千円

令和2年7月の大雨により被災した河川の復旧をす
るための必要経費を増額。

商工費

・住宅・店舗リフォーム等
促進事業補助金
600万円

議会費

・議会ICT整備事業
559万円

住宅・店舗リフォーム等
促進事業補助金の交付申請
件数が当初予定を上回るこ
とから必要経費を増額。

教育費

・成人式開催事業
108万7千円

成人式の3密を避けるた
めに式典の3部制への変更
に係る必要経費を増額。

災害復旧費

・河川災害復旧事業
1億5210万円

新型コロナウイルス感染
症等に対応するため、全議
員にタブレット端末を貸与
し、オンライン会議の開催
や各種資料のデジタル化等
を図るための経費を新規で
計上。

商工費

・中小規模店応援商品券発
行事業
3億2783万3千円

コロナ禍で長期的な影響
を大きく受ける中小規模店
を支援するため、中小規模
店専用のプレミアム付き商
品券を発行するための経費

◆◆◆ 審議した案件と結果 ◆◆◆

9月定例会

全会一致の案件
〔議案〕

議案番号	案件名	審議結果等
議案第 79 号	令和元年度決算認定	認定
議案第 80 号	令和元年度伊勢市病院事業の資本剰余金の処分及び令和元年度伊勢市病院事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 81 号	令和元年度伊勢市水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市水道事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 82 号	令和元年度伊勢市下水道事業の利益の処分及び令和元年度伊勢市下水道事業会計決算認定	可決及び認定
議案第 83 号	令和2年度伊勢市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第 84 号	令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 85 号	令和2年度伊勢市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 86 号	伊勢市児童発達支援センター条例の制定	原案可決
議案第 87 号	伊勢市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
議案第 88 号	伊勢市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正	原案可決
議案第 89 号	小中学校教育用タブレット端末の取得	原案可決
議案第 90 号	市道の路線の廃止	原案可決
議案第 91 号	市道の路線の認定	原案可決
議案第 92 号	伊勢市農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とするこ とにつき同意を求めること	同意
議案第 93 号	伊勢市教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意
議案第 94~95 号	人権擁護委員の推薦につき意見を聞くこと	同意
議案第 97 号	令和2年度伊勢市観光交通対策特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 98~116 号	伊勢市農業委員会委員の任命につき同意を求めること	同意

〔発議〕

発議第 7 号	防災・減災、国土強靱化対策の継続及び拡充を求める意見書の提出	原案可決
発議第 8 号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源 の確保を求める意見書の提出	原案可決
発議第 9 号	ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書の提出	原案可決
発議第 11 号	常任委員会の閉会中の継続調査	原案可決

市政を問う

9月定例会では、9月23日、24日および10月13日の3日間、1人の議員が議案質疑を、6人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします（発言順に記載）。

議案質疑 …予算、条例等の議会に提出された議案の内容について質問をすること

一般質問 …市の事業、諸課題、将来の方針等、市政全般について質問をすること

動画配信について

議案質疑・一般質問ページにおいて、YouTube を利用した録画放送へリンクするQRコードを掲載しています。各議員の掲載記事欄にあるQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、その議員の動画が視聴できます。

議案質疑

議案第79号

令和元年度決算認定

※監査委員に対する質疑

他団体への寄付という名目での補助金申請は棄却されるべきでは

答 目的が公益上必要と認められるならば、申請は排除すべきではない



野崎隆太 議員
(政友会)



問 運営の大半が税金で賄われるまちづくり協議会が寄付を行う事について見解を伺いたい。

答 公共的団体が行う協賛金や寄付金交付は、団体の設立趣旨や目的に沿い、その使用が公益上必要と認められるならば、一般論として問題はないと考える。

問 他団体への寄付という名目での補助金申請はトンネルと言われる行為であり、本来認められるべきものではないと考えるが見解を伺いたい。

答 寄付目的が公益上必要と認められるならば、申請

は排除すべきではないと考える。ただ、公益の必要性には様々な意見がある。裁量権の逸脱、乱用は厳に慎まなければならぬ。

問 補助金や税金により運営をされる団体の現金寄付は公金の透明性を失わせることにつながるのでは。

答 透明性の観点から言えば御指摘のとおり。ただ、一律に禁止するものではなく、公益に資するものならば、透明性の確保を講じる中で許容されてもよいものとする。

問 複数年、同一項目で同団体に寄付を続けることに

は違和感がある。事業成果の確認を含めてより慎重な精査がされるべきではないか。
答 事業に公益性が認められるならば、複数年にわたっての継続も認められると考える。ただ、単年度ごとに事業計画について検証は必要であると考える。



蓮台寺柿のブランド化の取り組みについて

問 「三重ブランド」の認定に向け関係者と協議していききたい



中村 功 議員
(志誠会)



問 蓮台寺柿のブランド化に向けた現状の取り組みは。

答 生産振興を図るための補助金制度や認知度向上に向けたPRを行っている。

問 後継者不足に対して、どう考えているか。

答 担い手と農地の問題を一体的に解決していくための「人・農地プラン」の作成に向け、生産者や地域で話ができる機会をつくっていく。

問 モニュメントや碑をつくるなど、観光資源につなげていく考えはないか。

答 観光部局と連携し、知名度向上に向け、PRしたい。

問 蓮台寺柿の日を設定する考えはないか。

答 関係者と相談したい。

一般質問

問 蓮台寺柿を使用した商品開発への支援の考えは。

答 今後、商品開発したものにについても、情報発信をしていきたい。

問 蓮台寺柿について、議論できる場を設ける考えはないか。

答 伊勢市農村振興基本計画の見直しの際、関係者に議論をしていただきたい。

銀座新道商店街について

問 商店街の浸水対策の取り組みは。

答 国・県と連携して進めており、市は令和4年度には排水路工事に着手したい。

問 商店街の振興対策の今後の取り組みは。

答 新道商店街振興組合が策定した「未来ビジョン」に沿って、関係団体等と連携し、中心市街地における賑わいの創出に努めていきたい。



蓮台寺柿

骨髄移植ドナー登録推進や助成制度の拡充の考えを聞きたい



答 献血時にドナー登録会等を開催したい。助成制度の拡充は今後の課題

辻 孝 議員
(公明党)



問 市として、献血や骨髄バンクドナー登録はどのよう
に推進しているのか。

答 県等に協力し、広報いせ・ホームページ等への掲示で普及啓発している。

問 役所で献血をしている時に骨髄ドナー登録のアナウンスもできないのか。

答 保健所と相談して今後連携して取り組んでいきたい。

問 市のドナー登録者数は、松阪市の半分程度となっている。関心を高める工夫が必要ではないか。

答 献血の機会に合わせてドナー登録会等を開催するのが効果的なので、関係機関と相談していきたい。

問 競泳の池江璃花子選手が急性白血病になり移植を受け寛解状態になった。彼女も今度、成人式を迎える。成人式を利用して啓発する考えはないか。

答 チラシやティッシュを配布しているが、周知方法を関係者、実施機関とも相談し啓発を進めたい。

問 市では、移植提供者に10万円、その雇用者に5万円の助成をしている。1週間程度の休暇が必要な提供者が休みやすい環境づくりとして雇用者への助成を増額する考えはないか。

答 助成の拡充は、効果等も勘案した上で、今後の課題と考える。

その他の質問事項

● 学生への給付型奨学金制度の拡充・見直しについて



骨髄バンクドナーカード

※骨髄バンクドナー登録…ドナー登録には、年齢や体重などの条件があります。詳しくは日本骨髄バンクホームページをご覧ください。

一般質問

特別定額給付金の支給が完了したが、全世界帯に対する支払い率は

答 99・6%である



楠木 宏彦 議員 (日本共産党)



問 申請が締め切りに間に合わなかった世帯があった。支給されないのか。

答 支給されないことになっている。

問 PCR検査について、政府は、医療・介護・保育などの従事者や高齢者の検査を広げる方向性を出している。市の体制整備の準備はどうか。

答 必要な検査が確実に行われるような体制の整備に努めていく。

問 病院収支が、予算比1億2千万円の減収になっている。どう見ているか。

答 受診控え、コロナ患者受け入れ用の病床確保などが原因だ。国・県からの病床確保および物品購入に対

する補助金などの財源確保に努めていく。

問 コロナ禍の中での自治体病院の役割をどう考えるか。

答 市・県その他関係機関と円滑な連携のもと、医療体制の整備、病床の確保などが求められている。

問 病院職員の状況は。

答 精神的なプレッシャーは大きい。職員の相談の体制がある。職場環境の安全を図り、家族の不安軽減のため専用宿舍施設も完備している。

問 学校における水分補給の対策は。

答 水道水を安全に飲めるように、上下水道部で確認してもらっている。

問 小中学校の学習の進捗は。

答 前期の終わりまでには、通常年度にまで回復する見込みだ。

問 新型コロナの影響で、修学旅行先に伊勢志摩地域が多く選ばれていると聞く。状況は。

答 県のアンケートでは、小中学校493校中221校が、さらに、岐阜、滋賀、奈良からも伊勢市に訪れていただいている。一方、市内の宿泊施設では、毎年受け入れている関西や東海地方からキャンセルとなり、トータルでは大幅な減少となっている。

問 来年以降も修学旅行先に選んでいただくためにも誘致に力を入れては。

答 伊勢志摩観光コンベンション機構で行っており、鳥羽市・志摩市等と連携し、誘致活動に努めていきたい。

問 市内への修学旅行誘致の補助金を検討しては。

答 集大会補助金を修学旅行にも拡大するように、検討していきたい。

問 国が行っているGOTOキャンペーンの課題は。



内宮前の修学旅行生

録が複雑で、小さな事業所では登録を諦めてしまつところもある。GOTOイートも含めて、登録の推進をしていきたい。

その他の質問事項

● 新型コロナウイルスに起因する財政への影響について

修学旅行誘致に力を入れては



答 周辺地域と連携し、誘致活動に努めていきたい

吉岡 勝裕 議員 (勢風会)



※集大会補助金…県大会以上の研修会等の各種会議やスポーツ大会等の宿泊者に対して、1人当たり1,000円が支給される補助金制度。

おくやみコーナーを設置する考えは

【答】 ICT等も活用して手続きの簡略化を検討する



吉井 詩子 議員
(公明党)



【問】 遺言書の保管制度や配偶者の居住権の保護等、高齢社会に対応した相続法制の改正について周知すべきではないか。

【答】 重要なことであるので、成年後見サポーターセンターと連携しながら研修会等を開催していく。

【問】 エンディングノートや遺言書の保管場所、葬儀の生前契約先等、終活情報を市に登録し、万一の際に病院、警察、消防や、本人が指定した人からの問い合わせに答える終活情報登録事業等に取り組む考えはないか。

【答】 先進地の状況について研究していきたい。

【問】 おくやみコーナー設置ガイドラインが国から示され、自治体支援システムも

用意されているが活用する考えはあるか。

【答】 死後の事務にはたくさんの手続きがある。市民にとってプラスになり便利なものであれば取り入れていきたい。

住宅政策と福祉の連携について

【問】 県内で二市が市営住宅の連帯保証人を一名にしているがどのように考えるか。

【答】 居住者の安心を考えると二名いることが有効である。

【問】 住宅セーフティネット制度による居住支援法人は見守りや債務保証といった支援をすることができると担い手づくりの仕組みとして研究してはどうか。

【答】 可能性を追求するということ意味で研究していきたい。



他市のおくやみコーナー設置例

自治会の退会は、協議会の住民参加の担保を失うに等しいのでは

【答】 自治会は地域の核となる組織、団体。意向を示されたことは、非常に重い



野崎 隆太 議員
(政友会)



【問】 まちづくり協議会は自主的に設立をされた人格なき任意の社団を条例に基づき、市が認可するという認識でよいか。

【答】 条例の構成上からそう解釈できると理解している。

【問】 自治会組織率は80%前後、約10万人になる。まちづくり協議会活動への参加者数に疑問がある。参加実数は。

【答】 具体的な人数、参加者は把握していない。

【問】 まちづくり協議会の一つにおいて、三自治会が自治会長の連名で退会届を出し、市に質問状の提出をしているのでは。これは事実か。

【答】 把握している。ふるさと未来づくりは地域の皆さんに参加いただいでまちづくりを行う取組。このような動きがあったということ非常に重く受け止めている。

【問】 まちづくり協議会は人格なき任意の社団である。加入、退会は当然できると考える。憲法よりも条例のほうが優先をするという回

答をするのか、それとも条例でまちづくり協議会に強制的な加入を強いることができるのか御説明いただきたい。

【答】 当然、憲法が尊重される。条例には入会・退会の規定がないが、当該まちづくり協議会で御判断いただくことになる。回答は退会を否定するものではない。

その他の質問事項

● 伊勢市重度身体障害者デイサービスセンター移管先法人選定の経過について



伊勢市重度身体障害者
デイサービスセンター「くじら」

伊勢市議会の議員定数 令和3年度改選時に2名削減 26名→24名に

議員定数検討会の設置

議員定数については、令和2年3月18日に議員定数検討会を設置し、調査・検討をしてきました。

議員定数検討会委員名簿

会長	上村 和生 (新政いせ)
副会長	久保 真 (勢風会)
委員	鈴木 豊司 (洗心)
委員	野崎 隆太 (政友会)
委員	小山 敏 (祥山会)
委員	浜口 和久 (志誠会)

議員定数検討会の開催状況

3月23日

正副会長の互選を行い、会長に上村和生議員、副会長に久保真議員が就任。

4月24日

7月末を目途に結論

を出し、報告書を作成、議長に答申を行うことを確認。事務局から他の状況等を説明後、各委員の意見を確認。

5月25日

各委員（各会派）の意見を確認。次回、報告書作成を視野に入れた議論をすることを確認。

6月29日

各委員（各会派）の意見を確認した後、意見を取りまとめるため採決を行った。本検討会の報告として、「2名減」を結論として議長へ答申することを確認。次回報告書案を議論することを確認。

7月31日

報告書案を議論・決定。報告書案の提出および提出日時を正副会長に一任することを決定。

最終的な報告書（答申）

は、8月4日に正副会長から議長に提出されました。内容については、次のとおりです。

議員定数検討会報告書(答申)

議員定数検討会は、議員定数について議論するため、令和2年3月18日の各派代表者会議において設置が決定されて以降、合計5回の検討会を開催し、これまでの伊勢市議会の議員定数の経過ならびに三重県下および類似団体の議員定数の状況、今後の人口動態等を踏まえ、伊勢市議会の議員定数についての議論を行ってきました。

削減すべきであるという意見、議会の持つ監視・監督機能、市民の意見を吸い上げる機能の面から考えれば削減すべきでない、市の予算規模、業務量、課題の増加に鑑み、議会の審議事項等が増えており、議員定数削減は住民福祉の向上につながらず現状維持とすべきであるといった意見がありました。

これらの意見について、各委員が会派へ持ち帰り、会派内においても協議を重ね、その結果についても検討会で種々議論を重ねた結果、2名の委員が現状維持、4名の委員が定数減との意見であり、賛成多数により、議員定数を2名削減することが妥当であるとの結論が出ましたので、検討会の報告といたします。



議員定数条例の一部改正

10月13日の本会議において、議員発議により、「伊勢市議会議員定数条例の一部改正」が提案され、上村和生議員から提案説明の後、審議が行われ、2名の議員から反対討論、3名の議員から賛成討論がありました。

主な反対意見は、市議会が多様な意見を吸い上げる場所で年齢構成の幅を持たせるべきである、定数減により常任委員会等の活動に支障が出るとの意見など。一方、主な賛成意見は、市民福祉の増進、市政の発展への議論は定数が減っても十分できる、議員定数が削減されても住民福祉が低下することはない、コロナウイルス等の影響で今後厳しくなる財政状況に対し、支出を抑制すべきであるとの意見がありました。採決では賛成多数により、原案どおり可決されました。

これにより、伊勢市議会の議員定数は、次の一般選挙から現在の26名から、24名となります。

発議第10号

伊勢市議会議員定数条例の一部改正

なぜ減らすのかというところを、改めてお伺いしたい

答 議論の結果、賛成多数で議員定数2人削減が妥当との結論である



野崎隆太 議員 (政友会)



問 報酬を減らすことで議員定数を残すということは可能。5千人に1人とした、根拠を御説明いただきたい。

答 議員定数検討会の一員として議論いただいたので御存じだと思う。人それぞれ物の差しがあり、ここまでは差し控える。

問 減らすことで、市政の発展、市議会の発展につながるというイメージがどうしても出来ない。減らすことで市政が発展するのか、市議会が発展していくのか。

答 市議会の発展ということで御質問されたと思うが、そのことも含めた中で、皆さんがこの結論を出したということ御理解をいただきたい。

議案質疑

答 もちろん、多にこうしたことはない。いろんな意

動画配信について

議案質疑・一般質問の動画については、伊勢市議会のホームページまたは質問ページに掲載のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取って視聴してください。

※QRコードを読み取るためのアプリが必要です。インストールされていない方は、インストール後にご利用ください。



発議第10号採決の様子

議会のICT化を図るため、タブレット端末を導入していくことを決定しました

議会のあり方調査特別委員会の広報検討分科会では、事務の合理化・効率化を図るため、ICT(情報通信技術)を活用した議会活動・議会運営の検討を行っており、その中で、タブレット端末の導入について検討を重ねてきました。

平成30年には、先進地である神奈川県秦野市や埼玉県飯能市への視察を行い、検討しましたが、費用対効果の観点から議員が各自所有しているスマートフォンを活用することとしてきました。

ところが、新型コロナウイルス感染症の広がり、災害時における対応、またペーパーレス化等、議会活動のさらなる活性化を進める上ではスマートフォンでは対応が難しい面もあり、三重県内の各市議会の状況も考慮し、本格的にタブレット

ト端末を導入していくことを決定しました。

タブレット端末は議員一人一台と議会事務局に導入をすることで、オンライン会議の実施等、議会活動の活性化のほか、各種アタヤスケジュールの共有により、円滑な議会運営を行うことができます。

導入の予算については、令和2年9月定例会の最終日に追加補正予算として上程され、総務政策委員会での審査の後、可決されました。



タブレットの活用について鳥羽市議会へ視察(令和2年7月17日)

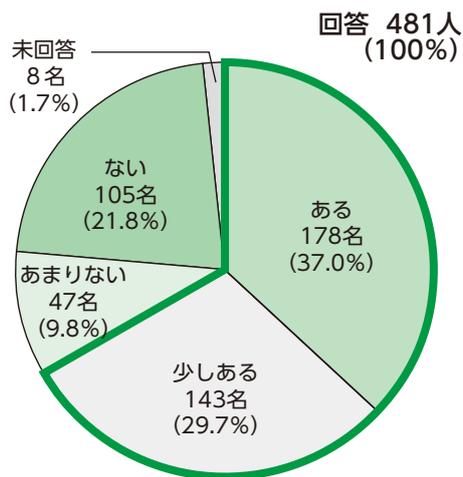
新型コロナウイルス感染症に関する伊勢市議会アンケート調査結果

令和2年9月1日号にて実施しましたアンケート調査結果の概要と皆様からいただきました主なご意見を公表します。ご意見については今後の市政に反映させてまいります。ご協力ありがとうございました。

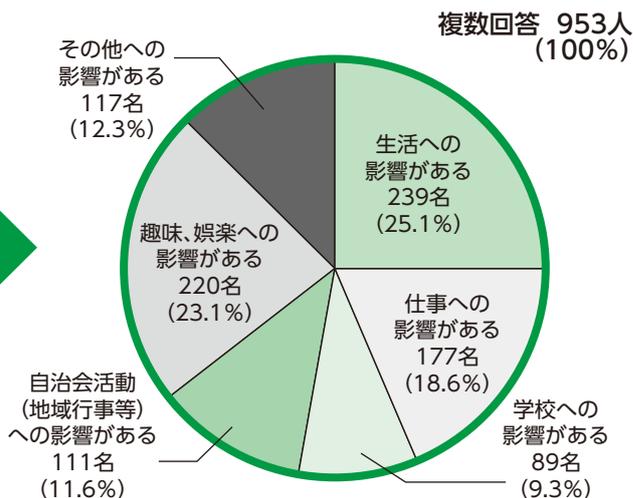
■ 実施概要および回答者の内訳について

実施期間	令和2年8月24日（月）から令和2年9月15日（火）まで
実施方法	①市議会だより9月1日号内アンケート、②市議会ホームページアンケートフォーム
回答数	481件（郵送：448件、持参：8件、市議会ホームページ：25件）
回答者の男女比	男性：165名（34.3%）、女性：294名（61.1%）、未回答：22名（4.6%）
回答者の年代	10代：1名、20代：11名、30代：36名、40代：57名、50代：75名、60代：110名、70代：131名、80歳以上：52名、未回答：8名
回答者の職業	会社員（正社員）：60名、会社員（契約社員／派遣社員）：14名、公務員：30名、自営業：27名、パート／アルバイト：100名、主婦（主夫）：91名、学生：2名、無職：133名、その他：15名、未回答：9名

【新型コロナウイルス感染症の影響】



【新型コロナウイルス感染症の影響（分野別）】



■ 新型コロナウイルス感染症の影響が「ある」、「少しある」と回答した方の主なご意見について

生活への影響がある：239名

- 仕事が減ったことにより収入減となったため、生活が苦しい。
- 他県や他市町への外出が制限され、家族の帰省等もできない。
- 旅行、買物、外食等が自由にできない。また、家族や近親者の冠婚葬祭に出席できなかった。
- マスクや消毒液の購入など、感染対策に費用がかかり、家計の負担になっている。

仕事への影響がある：177名

- 仕事が激減し、この状態が続くと生活ができなくなる。
- 店が休業したり、時間短縮となり、収入が減った。
- 接客業をしているが、「感染しない、感染させない」ことへの心理的なストレスが大きい。
- 出張や営業、訪問等ができない。顔を見て話ができない。オンラインでは限界がある。

学校への影響がある：89名

- 夏休みの短縮や学校行事の中止（延期）など、子どもたちがかわいそう。
- 大学の授業がオンラインで行われており、就職活動やアルバイトも思うようにできない。
- 3密を避ける学習方法や日々の消毒等、学校現場は180度変わってしまった。
- 小さいお子さんへの支援だけでなく、高校生や大学生を持つ世帯にも支援をしてほしい。

自治会活動（地域行事等）への影響がある：111名

- 夏祭りや子ども会など、ほとんどの行事が中止になってしまった。
- 住民どうしの交流機会が少なくなり、気軽に会えない。
- お年寄りの方への声掛けや安否確認のための訪問ができない。
- 自治会館の閉鎖で何もできなくなった。また、自治会行事の見直しをするきっかけになった。

趣味、娯楽への影響がある：220名

- 自由に旅行や外出等ができなくなった。趣味やサークル活動等ができなくなった。
- どこかへ行って感染でもしたらと思うとどこにも行けない。
- 行きつけの店が閉店になってしまった。
- 他県に住んでいる子どもや孫たちに会えない。

その他への影響がある：117名

- 近所の付き合いが減った。
- 家の中にいると体力が落ちる。自粛生活をしているとストレスもたまってくる。
- どこに出向くにも周囲が気になり、楽しさがない。
- 新しい生活様式と言われても何十年もの習慣や意識は簡単には変わらない。

■ 新型コロナウイルス感染症に関連した伊勢市の施策についての主なご意見やご提案について

- 広報いせの誌面等で新型コロナウイルス感染症対策の施策について、もっと市民にPRしてほしい。
- 補助や給付が煩雑で分かりにくい。具体的な対策が見えてこない。
- 本当に困っている方の所に支援を届けてほしい。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で商売がうまくいかず閉店するお店もあるので、支援をしてほしい。
- 感染者の感染経路等の情報をもっと詳しく公表してほしい。
- 感染者が誹謗中傷や差別されることがないように対策をしてほしい。
- 水道代の基本料金や給食費の無償化、保育料の減額等を実施してほしい。
- 感染拡大防止のため、希望者にはPCR検査を無料で実施してほしい。

新型コロナウイルス感染症の影響に関する伊勢市の支援については、広報いせ9月1日号に掲載の「**保存版 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた皆様へ (Ver.4)**」をご覧ください。また、伊勢市議会のホームページにも掲載しています。右のQRコードを読み取ってご覧ください。



12月定例会は、**12月7日～12月23日**の予定です。

日程等は、開会1週間前からケーブルテレビ、伊勢市議会ホームページでご案内します。

正誤 伊勢の好きなところ
将来の夢

9月1日号の16ページに掲載しました表紙の題字を書いていた北川美羽さんのコメントのタイトルについて、次のお詫びと訂正があります。

お詫びと訂正

9月1日号の16ページに掲載しました表紙の題字を書いていた北川美羽さんのコメントのタイトルについて、次のお詫びと訂正があります。

9月定例会の議録は、「9月議会の会議録」をご覧ください。

各種ご案内

表紙の題字は

大湊小学校の皆さんに書いていただいた作品の中から、今回は、中岡穂香さんの「いせ」を採用しました。



題字を書いた時の感想

いせの字の大きさとバランスが難しかったです。「せ」は大きすぎたから小さくしたら小さくなりすぎて、特に難しかったです。

大湊小学校5年 ^{なかおか} 中岡 ^{ほのか} 穂香

いせ市議会だよりの表紙の題字は、伊勢市内の小学生から募集したものを学校ごとに掲載しています。

次号は、佐八小学校の皆さんの作品の中から採用する予定です。

三重とこわか国体・三重とこわか大会 開催をPRしました

来年、三重県で開催される第76回国民体育大会（三重とこわか国体）、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）のPRのため、9月市議会定例会の本会議の初日（9月14日）に議員、市職員が全員で大会PR用のポロシャツを着用しました。現在、伊勢市では国体推進局が中心となり、大会の準備を進めています。



2021
三重とこわか国体
 第76回国民体育大会 2021年 9月25日(土)~10月5日(火)
 ときめいて人 かがやいて未来 **2021**
三重とこわか大会
 第21回全国障害者スポーツ大会 2021年 10月23日(土)~10月25日(月)

募集しています

伊勢市ボランティア

国体応援メッセージ・写真

企業協賛

問い合わせ先：国体推進局 国体総務課
TEL ③ - 9780

編集

議会のあり方調査特別委員会

広報検討分科会

委員	副会長	会長
久保 真	宮崎 誠	吉井 詩子
北村 勝	鈴木 豊司	岡田 善行
品川 幸久	山 敏	

品川 幸久	山 敏
-------	-----

問い合わせ先

伊勢市議会事務局(本館3階)

〒516-1860

伊勢市岩淵1丁目7番29号

TEL ② 15630

FAX ② 15631

Eメールアドレス

gikai@city.ise.mie.jp